

## 1 はじめに

本校は、宇部市の中心部に位置し、創立151年目となる宇部市で最も古い学校であり、児童数603人、学級数24、教職員数49人の大規模校でもある。

学校教育目標「問いや憧れをもち、進んで学び考え、行動するたくましい子どもの育成」のもと、チャレンジ目標の「あいさつ・ふわふわ言葉・授業前準備」を意識しながら、よりよい学校にするには、地域のためにできることは何かを考えながら学習活動や行事を実施している。

学校や地域、保護者も「地域に愛着をもち、地域のために行動する子ども」の姿の実現に向けて、植物や花を通した学校環境整備、小中高合同ごみなしピカピカ清掃等を通した活動の場を設け共に行っている。今年度は、児童がその活動をより主体性をもって行える機会を創出してきた。その一つとして、児童が生け花クラブで得た伝統的な知識や技術を他の児童へ披露すると共に、普段お世話になっている地域住民にもそれらの活動を発展させ、心と心を花でつなぐ取組を行った。

## 2 活動の概要

### (1) 「心と心 生け花活動」について

児童が、生け花活動で得た知識や技術を活用して、他の児童や教職員・来校者のために、校内に花を生けた。



地域の方がボランティア講師として来校し、月一回児童の生け花活動の指導をしている。児童はより美しく見える位置はどこかを考えながら生けたり、花の命が少しでも長く続くよう世話をしたりする方法も活動の中で学んでいる。

作品は、玄関や校長室、廊下に飾っている。また家庭にも持ち帰って飾り、家族とも楽しんでいる。

他の児童や教職員・来校者は、校内に飾られた生け花で季節を感じ、美しいものを目にすることで元気づけられている。

### (2) 学ばーよ（授業参加）「未来にジャンプ！！話に花咲く感謝の会」について

地域の方が授業に参加し、児童と共にフラワーアレンジメントを楽しんだ。また児童は6年間の感謝の気持ちを地域の方や家族に伝えた。

初めてフラワーアレンジメントに挑戦する児童や地域の方も多く、「これはどうするの？」「どこを切ったら、その形になるの？」など自然と会話が生まれ、どこのグループも話に花が咲いていた。



活動中には「みんなの元気なあいさつが、いつも嬉しかった」と地域の方からのお礼の言葉をいただいたり、1年生の頃の登下校のときのエピソードを聞いて大笑いしたり、思い出話も大変盛り上がった。

最後に互いの作品を鑑賞し合ったあと、児童から地域の方へ6年間の感謝の気持ちを込めたお礼の言葉が贈られた。



児童はできあがった作品を家庭へ持ち帰り、6年間の感謝の言葉と共に、家族へ贈った。突然の贈り物に、ご家族が大変感謝され喜ばれた。

また地域の方はコロナ禍後、再び元気に学校で共に学ぶことができることへの喜びを述べられたり、今後も児童と一緒に学びたいと言われたりして帰途につかれた。



### 3 おわりに

児童は地域の方とともにいった生け花や活動を通して、視野を広げ、生活の質を高めたいという思いをもつことが分かった。また、地域の方は、児童との協働活動を通して、学校への関心を高め、これまでよりもかかわりをもちたいという思いを強くしていた。

「花はそのままでもかわいいが、いけると更にかわいく美しくなることが分かった」と児童は振り返っている。「部屋の模様替えをした。花を生けるコーナーをつくった」と児童が自分の生活をよりよくする活動へ結びつけていることも分かった。

そのことから伝統を継承する講師と交流することで、児童は視野を広げ、生活の質(well-being)を高めたいという思いを強くもつようになることも分かった。

今後も児童が6年間の学びや育ちを支えてくれた地域の方や家族へ感謝の気持ちを伝えたいような必然性のある学習を計画的・継続的に行えるよう見通していきたい。